



別紙1 大手前通りイルミネーション事業  
《提案者向け資料》

- 01 令和6年度内容
- 02 令和7年度方針
- 03 姫路城彩雲ライトアップ
- 04 姫路駅前広場
- 05 大手前通り
- 06 モニュメント
- 07 大手前公園・家老屋敷跡公園
- 08 世界遺産・国宝姫路城

# 01 令和6年度内容



○期間：令和6年11月22日～令和7年2月23日（94日間）  
○時間：17：00～22：00 ※週末・祝日などは24時まで

# 01 令和6年度内容

—SNS映えする魅力的な光のスポットの創出—

◇姫路駅北交通広場設置モニュメント

◇ライティングファニチャー

—イルミネーションエリアの拡大—

◇家老屋敷跡公園

—イルミネーション×歩行者天国—

◇レーザーとスモークによる特別演出

## 02 令和7年度実施方針

# 提案にあたっての留意事項

◆本事業は令和6年度から「あたら夜」というテーマのもと実施しています。

「あたら夜」とは、明けてしまうのが惜しいほどの素晴らしい夜を意味します。日本で生まれた大和言葉で万葉集の歌にも使用される上品で雅びやかな言葉とされています。

令和7年度も本テーマを継続するため、「あたら夜」を表現した光の演出を提案してください。

◆歩行者天国実施中の特別演出については提案する際は、歩行者天国エリア内の道路上や家老屋敷跡公園において行うフルカラーLEDを最大限活かした通常とは異なる特別な演出を光の動きや変化が分かるような絵コンテ等を作成の上、提案してください。

# 昨年度からの主な変更事項

## <大手前公園のエリア縮小>

令和6年度は大手前公園の大部分をイルミネーション対象範囲としていましたが、令和7年度は公園西端の歩道との境目に南北に並ぶイチョウ12本のみをイルミネーション対象範囲とします。

## <万博期間に使用したイルミネーション機材の残置>

万博期間の大手前通りイルミネーション（令和7年4月13日～令和7年10月13日実施）で使用した機材が、白銀交差点から姫路城前交差点までの区間のクスキに残置される予定のため、継続して使用してください。

## <点灯セレモニーの歩行者天国内での実施>

例年姫路駅北の交通広場で点灯セレモニーを実施していましたが、令和7年度は歩行者天国内（白銀交差点から姫路城前交差点まで）で点灯セレモニーを実施します。



## 歴史・文化

姫路市の歴史を象徴する姫路城と、  
今まさに姫路の文化が生まれ育ちゆく市街地、  
これらをつなぐ場として歴史と文化を重視したものであること。

## 景観・創造

夜の景観の美しさだけでなく、  
そのために生じる昼の景観への影響にも配慮し、  
駅と城を結ぶ大空間ならではの創造性豊かなものとする。

## 観光・未来

まちの景観資産としての価値を高めることで、  
次の世代へ引き継げる観光資源となり、  
より豊かな未来が実感できるようなものであること。

## 普遍・堅実

一時の流行に左右されることなく、  
大勢の人々に受け入れられ、  
最新の技術に基づく確実なものとする。

姫路城ライトアップは、天守群を純白の光色で照らし出すことを主題としていますが、新しい光の演出として、毎晩20時と21時から15分間、「彩雲ライトアップ」と銘打った特別演出も行っています。

「彩雲ライトアップ」とは、太陽光で雲に光色が現れる現象である彩雲をイメージした、月毎に変化する演出プログラムによって、季節感を表現したものです。

「姫路市都市環境照明ガイドライン」で、大手前通りは、都市の魅力をつくり出す重要な景観軸と位置付けられており、景観核である姫路城を生かしたまとまりのある光環境が求められています。

大手前通りイルミネーションは、以上のような前提を踏まえ、強い光、派手な光色、激しい動きなどは避け、あくまでも姫路城ライトアップに調和する光として、次頁以降の内容で実施されるものとしします。

## 01 クスノキ

- ・ 姫路駅と姫路城を結ぶ大手前通りならではのスケール感を活かす。
- ・ 樹形外面全体の光色変化可能なLEDイルミネーションと、下部からのフルカラー投光器のアップライトにより、「姫路城彩雲ライトアップ」に呼応した演出プログラムとすること。
- ・ 姫路城から駅前へゆっくりとたなびく雲のように、時と共に移ろう光を演出します。変化時間は、「彩雲ライトアップ」に準じた、ゆっくりとした動きにすること。

## 02 イチョウ

- ・ 歩行者が行き交う歩道内の中央に並ぶイチョウは、イルミネーションも人々に近いものとなるため、人の目に優しい輝きのイルミネーションとすること。
- ・ 純白に照らされた姫路城に合わせた、色温度5,000Kの白色光のイルミネーション。
- ・ 動きのあるクスノキの演出効果を引き立てるよう、静的な固定点灯とする。

## 03 モニュメント

- ・色温度2,700~3,000Kの光色による小さなスポットライトで、立体感を感じるように照らし上げる。
- ・点灯時に不快なグレアがないよう、フードルーバー付きの器具とすること。

## 04 低植栽帯

- ・目線より下の低植栽帯への光は設置しない。

## 05 全体

- ・大手前通りイルミネーションは、強い光、大量の光、派手な光色、激しい動きなどは避け、あくまで姫路城ライトアップに調和する光とすること。
- ・全体の演出（白色から彩雲カラーへの色の変化と動き）について、令和5年度、令和6年度の演出内容が来場者から好評であったことから、市民を含む来場者に定着するまで令和7年度も踏襲することを基本とする。

## 《－ 1 デザイン方針》

- (1) 姫路市の夜間景観向上に向け一新された姫路城彩雲ライトアップと調和し、令和6年度に行われた大手前通りのイルミネーションの概要を踏まえた上で、イベントをより一層盛り上げるデザイン内容であるものとしします。
- (2) 演出プログラムは、彩雲ライトアップのカラーに合わせて各月ごとに变化させ、イベント期間に渡って新味を維持するものとしします。

## 《－ 2 留意事項》

- (1) 姫路城（天守群、白壁、石垣・堀、門など）に対し、一切の光の照射は控えるものとしします。
- (2) 強く眩しい光、派手な光色、激しい動きなどは、できるだけ避けた内容としします。
- (3) 交通の障害とならない様、安全に配慮した計画としします。

### 03 姫路城彩雲ライトアップ

七彩（しちさい）の雲に包まれる世界遺産・国宝姫路城

姫路城の白漆喰が最も映える白色ライトアップ



通常

2月



1月



11月

12月



～彩雲～

太陽の近くを通りかかった雲に、緑や赤など多色などの模様がまだらに見える現象で、めでたい出来事として起きる前触れ現象・瑞相（ずいそう）のひとつ。

姫路城ライトアップは、天守を純白の光色で照らし出すことを主題としていますが、新しい光の演出として、毎晩20時と21時から15分間、「彩雲ライトアップ」と銘打った特別演出も行っています。

「彩雲ライトアップ」とは、太陽光で雲に光色が現れる現象である彩雲をイメージした、月毎に変化する演出プログラムによって季節感を表現したものです。

## 彩雲ライトアップ 《季節に応じた特別演出の光色》

	点灯月	メインカラー		アクセントカラー	
イルミネーション期間	11月	淡いオレンジ	淡いレッド	ほのかなライトブルー	上品なライトブルー
	12月	淡いレッド	淡いバイオレット	ほのかなオレンジ	上品なオレンジ
	1月	淡いライトブルー	淡いレッド	ほのかなグリーン	上品なグリーン
	2月	淡いバイオレット	淡いシアン	ほのかなマゼンタ	上品なマゼンタ
	3月	淡いマゼンタ	淡いバイオレット	ほのかなイエロー	上品なイエロー
	4月	ほのかなピンク	淡いピンク	ほのかなシアン	上品なシアン
	5月	淡いグリーン	淡いイエロー	ほのかなバイオレット	上品なバイオレット
	6月	淡いブルー	淡いパープル	ほのかなイエローグリーン	上品なイエローグリーン
	7月	淡いシアン	淡いブルー	ほのかなパープル	上品なパープル
	8月	淡いブルー	淡いグリーン	ほのかなイエロー	上品なイエロー
	9月	淡いグリーン	淡いバイオレット	ほのかなオレンジ	上品なオレンジ
	10月	淡いイエロー	淡いオレンジ	ほのかなレッド	上品なレッド

## 04 姫路駅前広場

「城を望み、時を感じ人が交流するおもてなし広場」



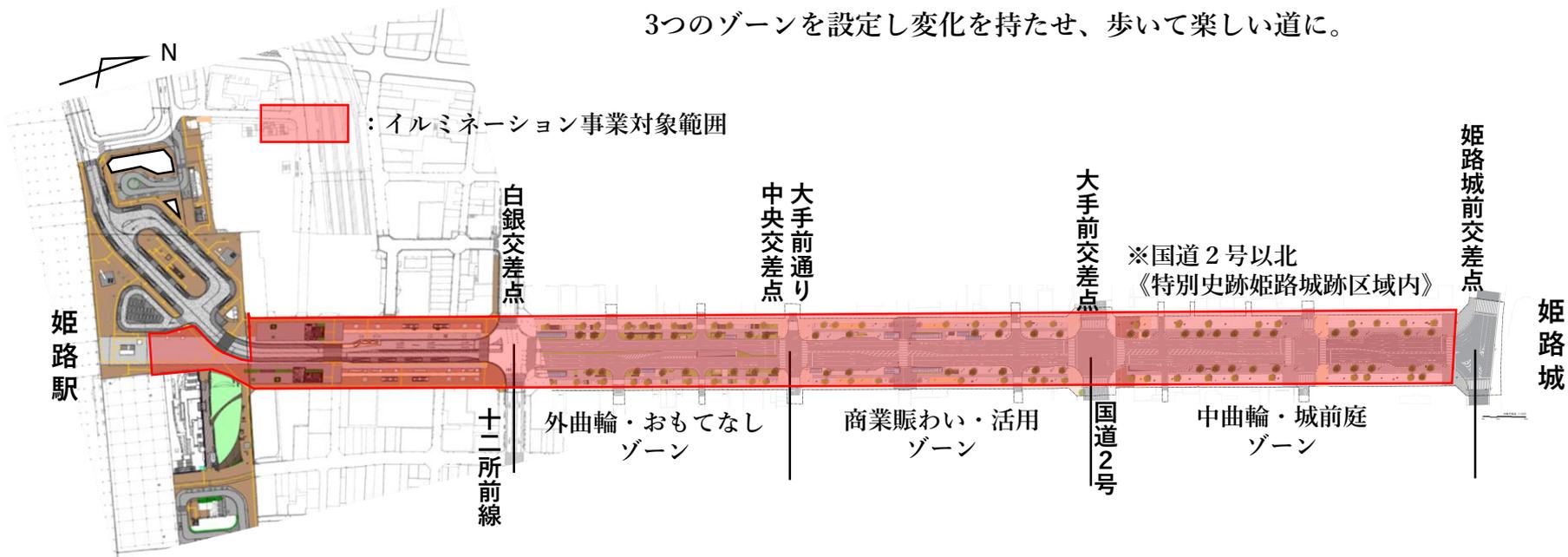
○景観核とする姫路城からある程度離れており、地域の特徴を持たせた景観範囲。【地域の明かりエリア】

駅前や商業地域の場合は、地域性を反映した賑わい感のある光環境となるが、景観核と同一視野に見えてくるため、強い光、大量の光、派手な光色、激しい動きのある光などは控えることが望まれるエリア。《姫路市都市環境照明ガイドライン》



# 05 大手前通り (ゾーニング)

街路としての風格を演出する統一感を緑とあかりの連続性で表現しつつ、3つのゾーンを設定し変化を持たせ、歩いて楽しい道に。



## 外曲輪・おもてなしゾーン

### 緑と花のおもてなし空間

緑地を多く確保し、モニュメントとベンチ、花壇が一体となった休息空間を整備。花壇について、アダプト制度等を活用し、市民や企業が参加できるよう整備しています。

## 商業賑わい・活用ゾーン

### 市民主体の活用による賑わい空間

#### ・おもてなしの情報発信空間

市内産杉材を使用した「ウッドデッキ」など、利活用スペースを整備。イベントやオープンカフェなどができる、にぎわいの核となる空間としています。

## 中曲輪・城前庭ゾーン

### 姫路城を感じる静かな休息空間

現在の車道路肩部分を歩道に拡幅することで、姫路城を眺めながら散策や休憩ができます。姫路城との調和を意識した整備内容とし、重厚感のある色使いを基調としております。

## 05 大手前通り (外曲輪・おもてなしゾーン～商業賑わい・活用ゾーン)

「歩いて楽しい、大好きなお城への道」  
～「ひと」が集い、「まち」とつながる大手前通り～



○「暗みエリア」と「地域の明かりエリア」の中間的な景観の範囲。

強い光、大量の光、カラフルな光、動きのある光などを抑え、白色光をメインとした落ち着いた光環境。

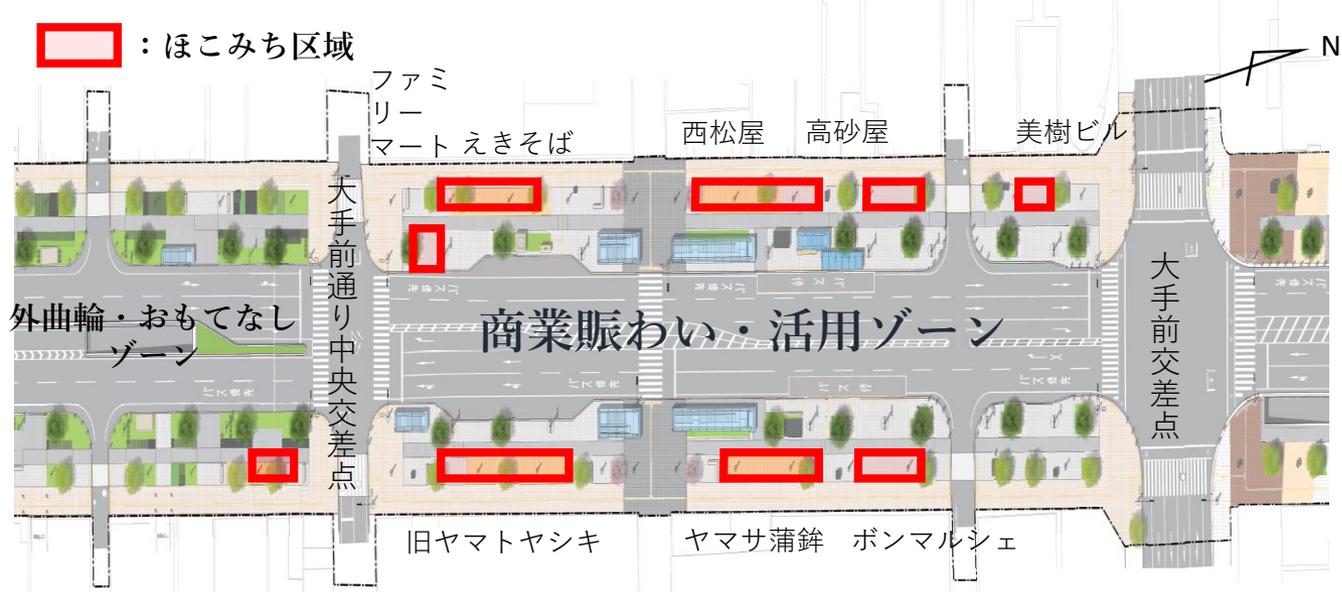
《姫路市都市環境照明ガイドライン》



# 05 大手前通り (外曲輪・おもてなしゾーン)



# 05 大手前通り (商業賑わい・活用ゾーン)



「みち」が変わる  
「まち」が変わる

# 05 大手前通り（中曲輪・城前庭ゾーン 《姫路城跡特別史跡地区域内》）

姫路城を感じる静かな休息空間



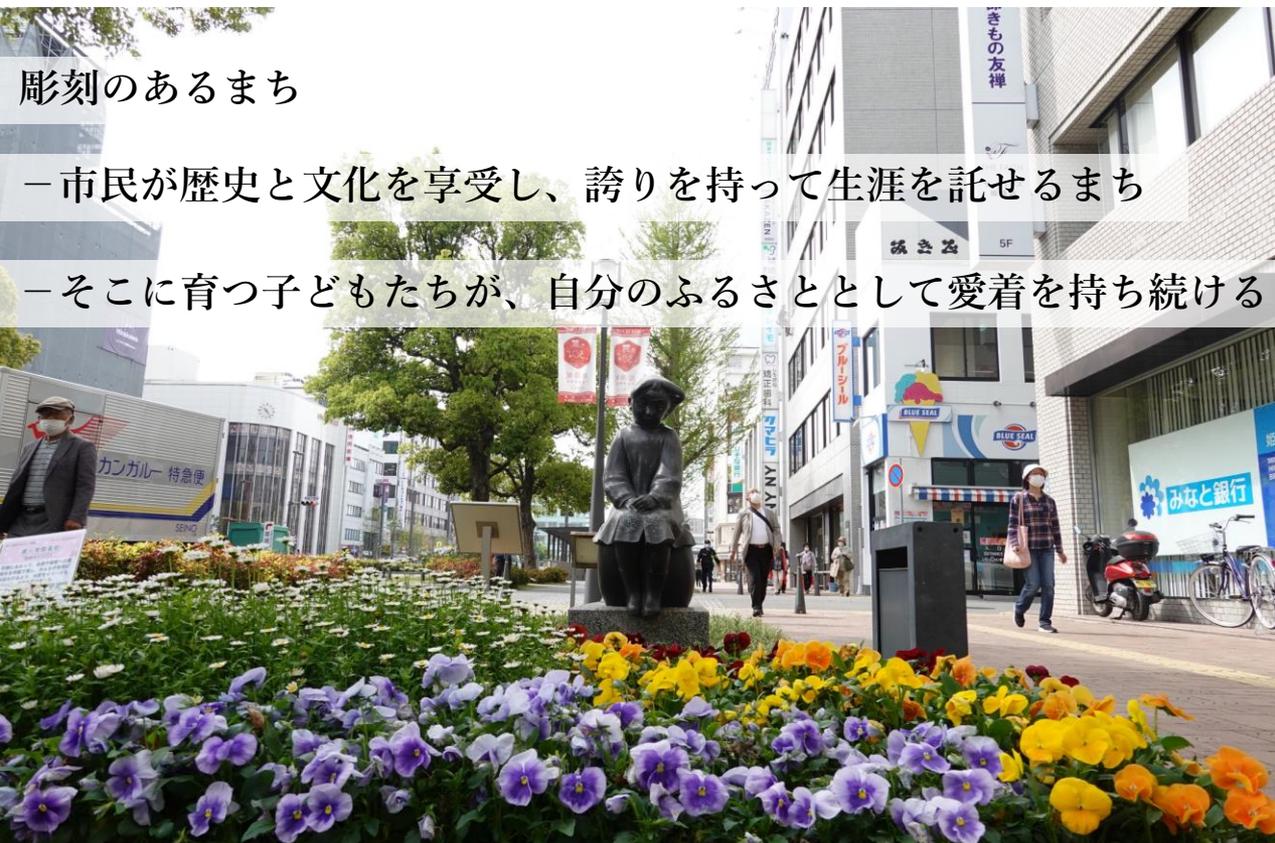
○姫路城の背景として、すぐ近くに見えてくる景観上の範囲。【暗みエリア】  
夜間景観上のフォーカスとなる姫路城を際立たせるよう、暗みの保たれた光環境。  
《姫路市都市環境照明ガイドライン》



# 06 モニュメント

## 彫刻のあるまち

- 市民が歴史と文化を享受し、誇りを持って生涯を託せるまち
- そこに育つ子どもたちが、自分のふるさととして愛着を持ち続けることができるまち



詳細は別紙4「大手前通りイルミネーション事業実施業務委託【モニュメント配置図】」に記載

## 07 大手前公園・家老屋敷跡公園

— 大手前公園 —

市民はもとより国内外からの来訪者が憩い、交流する場



— 家老屋敷跡公園 —

芝生広場は酒井藩時代（1750年代から幕末）の

筆頭家老高須隼人の屋敷があった場所



公園に残る遺構は、江戸時代のメインストリート



## 姫路城が世界遺産である理由

- ・その美的完成度が我が国の木造建築の最高の位置にあり、世界的にも他の類のない優れたものであること。
- ・17世紀初頭の城郭建築の最盛期に、天守群を中心に、櫓、門、土塀等の建造物や石垣、堀などの土木建築物が良好に保存され、防御に工夫した日本独自の城郭の構造を最もよく示した城であること。

“いつものまちなか”を光で彩り、姫路の新たな魅力創出へ